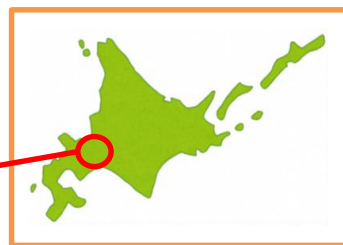


## 取組の概要

計画作成主体：真狩村地域農業再生協議会  
 対象品目：ブロッコリー（産地面積174.5ha）  
 主な取組主体：ようてい農業協同組合  
 成果目標：販売額の10%以上の増加  
     基準（H29年度）436,713円/10a  
     目標（H32年度）504,641円/10a  
 導入施設等：生産支援事業（機械リース）  
     （製氷機 4台）

### 北海道

黒松内町、蘭越町、ニセコ町、  
 真狩村、留寿都村、喜茂別町、  
 京極町、倶知安町



## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

増加する作付面積に対応した受入製氷体制が確立されていないため、受入超過分については安価な販売単価となっている状況にある。

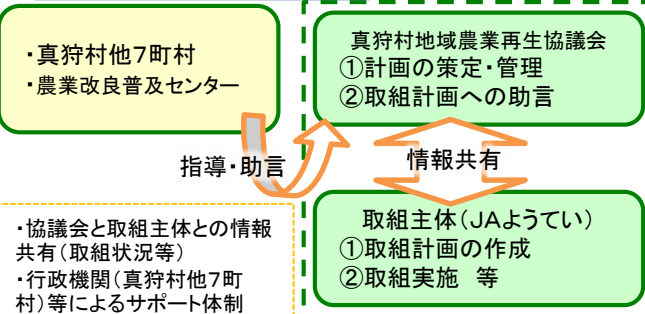
このことから、製氷機の能力増強により、全生産量の鮮度が保持され、道外市場への販売を強化し、高い販売単価より、販売額の増加を目指す。



### 【産地の体質強化に向けた方策】

①全生産数量の全量氷詰め出荷を図るため、製氷機の導入を支援

## 推進体制



## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

・JAブロッコリー生産組合が主体となった栽培マニュアル作成  
 ・マニュアルを準拠した生産者の取組による生産技術向上

## 期待される事業効果

### 【事業実施による直接効果】

- ① 生産全数量の鮮度保持による高販売単価での販売
- ② 鮮度保持による道外市場販売の実現

### 【事業実施による間接効果】

- ① 作付面積拡大に伴う出荷数量拡大への迅速な対応
- ② 高品質な商品の定時・定量出荷等の迅速な対応



## 販売額の増加

～ブロッコリーの販売額～

